事業団からのお知らせ

Vol. 27（令和8年11月）

日の暮れる早さに秋の深まりを感じる季節となりました。「エコみらいひたち」の工事現場で新たに開始した遮水工のほか、上水道のポンプ場や浸出水処理施設の工事の様子をお知らせいたします。日中の気温差に伴う作業員の体調管理などにも留意し、引き続き、安全・安心を第一に工事を進めてまいります。



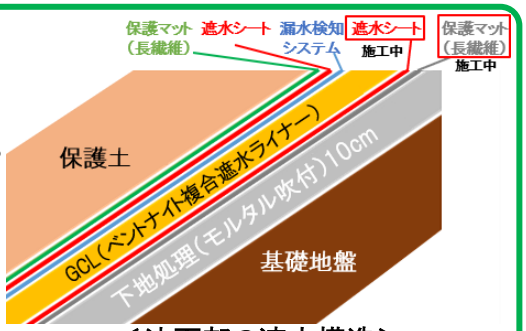
エコみらいひたち　完成予定図

遮水工の施工を開始

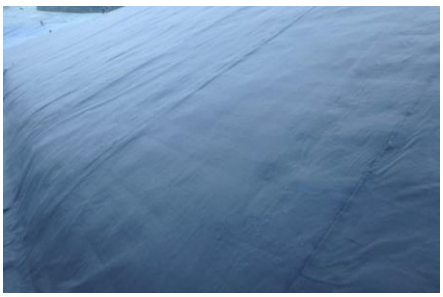
埋立地の法面部では、廃棄物に触れた雨水（浸出水）が地下へ浸透するのを防ぐ遮水工の施工を開始しました。

工事では、最初に合成繊維の不織布製の保護マットを敷きます。これには次に敷く遮水シートに傷が付くのを防ぐ役割があります。その上に、低密度ポリエチレン製の遮水シートを設置します。

また、熱風で加熱しながら圧力をかけてシート同士を一体化させる自走式熱融着工法により、遮水シートのつなぎ目をしっかりと接合することで、浸出水の漏れを確実に防ぐ構造としています。



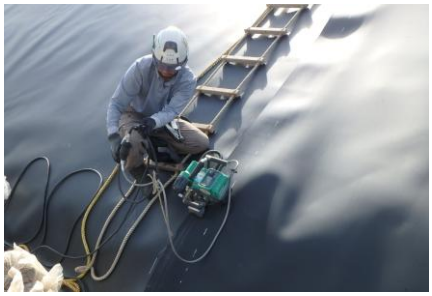
＜法面部の遮水構造＞



＜保護マットの設置状況＞



＜遮水シートの設置状況＞



＜自走式熱融着工法の施工状況＞

【お問い合わせについて】

担　当：一般財団法人　茨城県環境保全事業団　新最終処分場整備日立事務所
電　話：0294-33-8731　E-mail：seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ（https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info）
又は二次元コードからご確認いただけます。

現場だより

上水道のポンプ場工事に着手

上水道のポンプ場は、水道水に圧力を加え、標高の高い場所へ汲み上げたり、遠方の地域へ送水したりするための施設です。

今回の工事では、水道水を貯める設備や家庭に水を送る設備を設置するほか、建物の建築工事などを行います。下の地図のとおり、3箇所のポンプ場を新設・改修いたします。

現在、大平田地区には井戸水を水源とする諏訪大平田浄水場から水が送られていますが、今回の工事により、新たに水道水の供給が可能になります。



＜諏訪梅林ポンプ場＞
（新設工事）



＜諏訪大平田浄水場＞
（改修工事）

浸出水処理施設の施工状況

浸出水処理施設では、建物の外壁部分のALCパネル（軽量気泡コンクリート建材）設置工事が概ね完了し、今後は屋根工事を進めてまいります。また、建物内では、汚泥脱水機と汚泥ホッパの設置を進めています。

これらは、浸出水をきれいにする過程で発生する汚泥を処理するための重要な設備です。

汚泥処理では、まず発生した汚泥の水分を脱水機で取り除いて、搬出や処分がしやすい状態にします。その後、一時的に汚泥ホッパに貯留し、処分場内の埋立地へ運んで安全に埋立処理します。

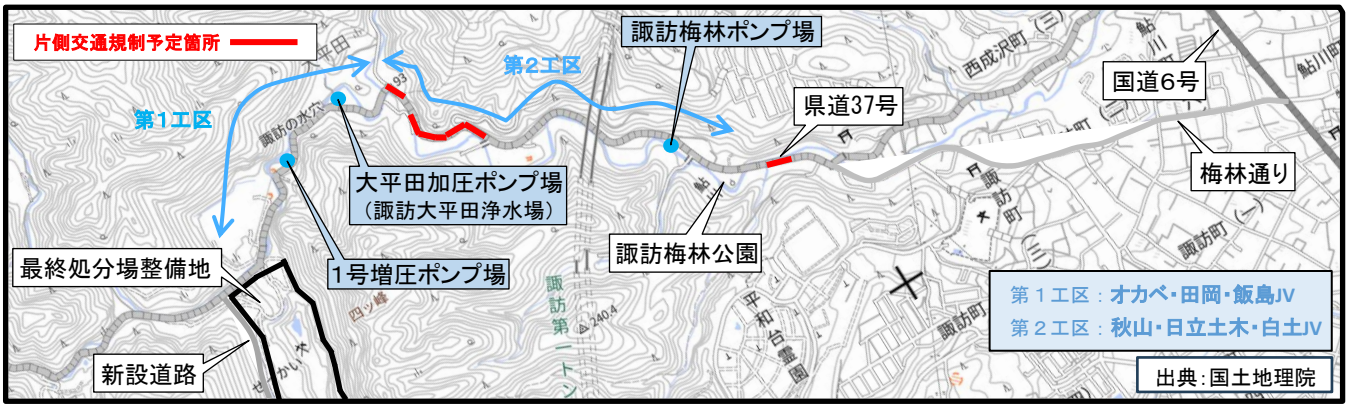


＜外壁工事の状況＞



＜汚泥ホッパの設置状況＞

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所（11月）・上水道のポンプ場工事箇所



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

大気質（8月測定）

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。

騒音・振動（8月測定）

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。

地下水（8月測定）

工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は事業団のホームページで公開しています。

処分場建設工事中の環境モニタリング結果



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点